

平成24年5月

# 教育警察常任委員会資料

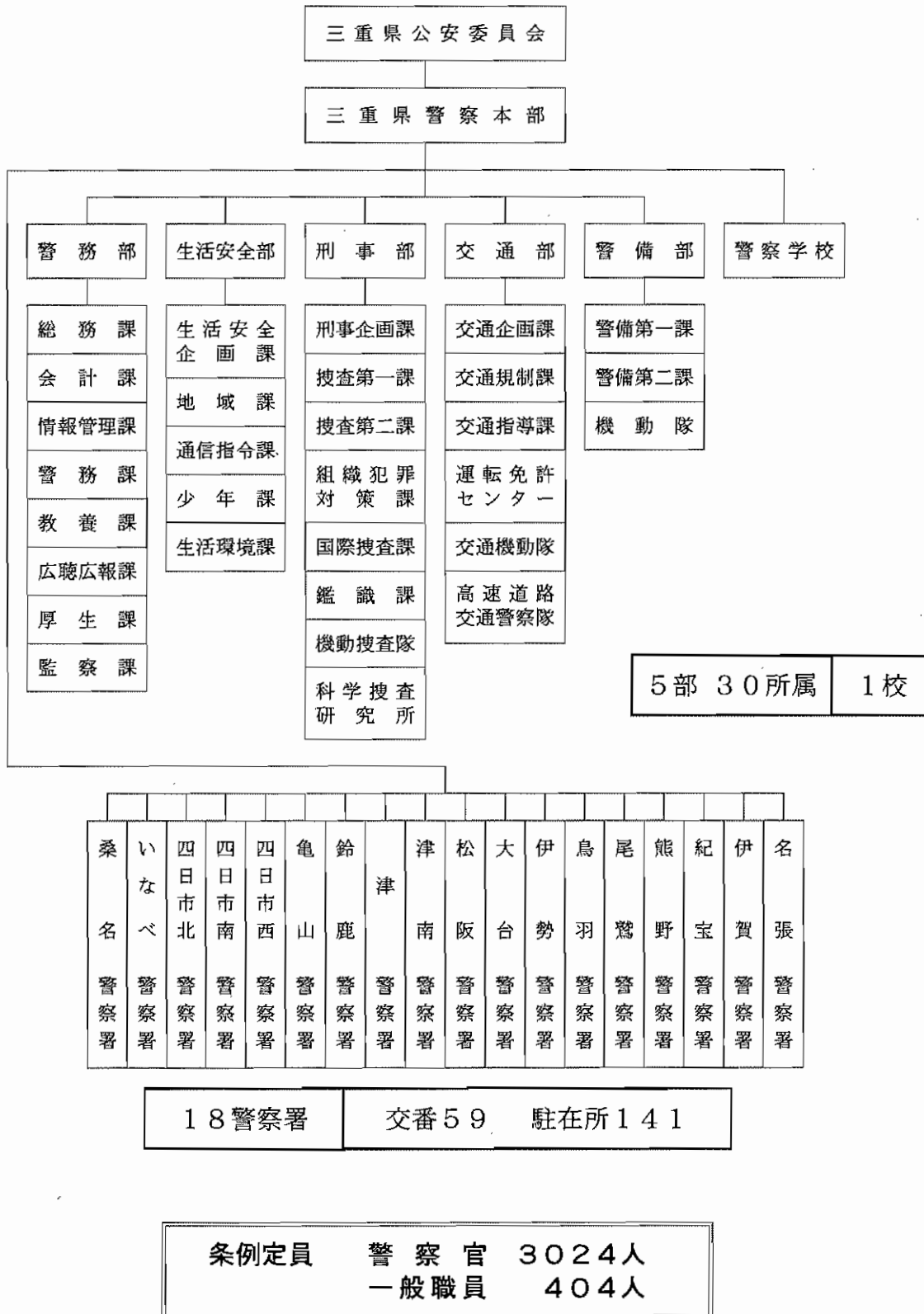
## 所管事項概要説明

- 平成24年三重県警察運営の重点目標について【資料1、2】 ..... 1頁
- 平成24年度警察費当初予算及び主要事業について【資料3～6】 ..... 3頁
- 犯罪情勢について【資料7】 ..... 9頁
- 街頭犯罪等及び振り込め詐欺抑止対策の推進について【資料8】 --- 11頁
- 交通事故の発生状況と交通事故抑止対策の推進について【資料9】 --- 12頁
- 災害に係る危機管理体制の再構築に向けた取組について【資料10】 --- 14頁

三重県警察本部

三重県警察の組織

平成24年4月1日現在



## 平成24年三重県警察運営の重点目標

### 執務の基本方針

県民と共に築く安全で安心な地域社会

～ 正しく・強く・温かく ～

### 執行の重点

- 街頭犯罪等身近な犯罪の抑止対策の推進
- 大規模災害等緊急事態に備えた対策の推進とテロの未然防止
- 精強な初動警察態勢の確立と重要犯罪等の徹底検挙
- 暴力団の壊滅に向けた総合対策と犯罪のグローバル化・犯罪インフラ対策の推進
- 交通死亡事故等抑止対策の推進
- 少年の健全育成に向けた総合対策の推進
- 犯罪被害者等支援対策の推進と要望・相談等への的確な対応

## 平成24年度警察費当初予算及び主要事業について

## 1 当初予算の概要

## (1) 当初予算の総括

【単位：千円】

項目	H24年度当初	H23年度6月補正後	増減
警察費当初予算額	37,667,059	39,387,952	△1,720,893
人件費総額	30,811,038	31,655,071	△844,033
物件費総額	6,856,021	7,732,881	△876,860

注1 人件費は、職員給与削減による減が主要因

注2 物件費は、緊急雇用創出事業数の減（-5事業 約7億円）が主要因

## (2) 施策別予算額：【「みえ県民カビジョン」】

【単位：千円】

施策	基本事業	H24年度予算額	H23年度6月補正後	増減
111	防災・減災対策の推進	330,469	459,309	▲128,840
	11102 災害対応力の充実・強化	28,815	16,372	12,443
	11104 迅速な対応に向けた防災情報の共有化	301,654	442,937	▲141,283
131	犯罪に強いまちづくり	3,511,650	4,300,786	▲789,136
	13101 みんなで進める犯罪に強いまちづくりの推進	141,702	368,448	▲226,746
	13102 犯罪の徹底検挙と抑止のための活動強化	477,854	363,068	114,786
	13103 組織犯罪対策の推進	23,130	20,243	2,887
	13104 犯罪被害者等支援対策の充実	48,694	48,767	▲73
	13105 県民の安全を守る活動基盤の整備	2,820,270	3,500,260	▲679,990
132	交通安全のまちづくり	3,338,874	3,310,184	28,690
	13201 交通安全意識と交通マナーの向上に向けた啓発・教育の推進	1,130,185	1,574,681	▲444,496
	13202 安全で快適な交通環境の整備	2,021,625	1,461,800	559,825
	13203 交通秩序の維持	187,064	273,703	▲86,639
行政運営8	公共事業推進の支援	2,819	2,198	621
	40801 公共事業の適正な執行・管理	2,819	2,198	621
その他(人件費等)		30,483,247	31,315,475	▲832,228
		37,667,059	39,387,952	▲1,720,893

## 2 平成24年度警察費当初予算主要事業

政策名、施策名及び事業の内容	担当課
<p>《政策名：危機管理～災害等の危機から命と暮らしを守る社会～》  《施策名：(111) 防災・減災対策の推進》</p> <p>(新) 1 地域を支える警察活動強化事業【緊急課題解決1】 2,526千円  【(11102) 災害対応力の充実・強化】  (第9款 警察費 第2項 警察活動費 2 刑事警察費)  地域住民の安全・安心のよりどころとして重要な防災拠点である交番・駐在所にポータブル電源や避難誘導用具等の整備を進め、防災拠点機能の強化を図ります。(交番・駐在所50か所)</p> <p>(新) 2 災害警備対策事業(震災) 23,015千円  【(11102) 災害対応力の充実・強化】  (第9款 警察費 第2項 警察活動費 2 刑事警察費)  災害発生時に迅速かつ的確に対応するため警察本部のシステムサーバーの免震等の対策を講じて、災害対応力の強化を図ります。</p> <p>3 ヘリコプターテレビシステム整備事業 220,644千円  【(11104) 迅速な対応に向けた防災情報の共有化】  (第9款 警察費 第1項 警察管理費 3 装備費)  災害や山岳遭難等の事故発生時の捜索救助活動や、事件事故発生時の情報収集、交通情報の収集等に必要不可欠な、ヘリコプターテレビシステムの更新整備を進めます。(地上設備3か所の更新整備)</p>	<p>警備第二課</p> <p>警備第二課</p> <p>地域課</p>
<p>《政策名：暮らしを守る～誰もが安全で安心して暮らせる地域社会～》  《施策名：(131) 犯罪に強いまちづくり》</p> <p>(新) 1 みんなで進める犯罪に強いまちづくりの推進事業【新しい豊かさ協創5】 843千円  【(13101) みんなで進める犯罪に強いまちづくりの推進】  (第9款 警察費 第2項 警察活動費 2 刑事警察費)  犯罪に強いまちづくりを推進するため、非行少年や被害少年等の居場所づくりなどを通じて、既存のボランティア等を含めたさまざまな主体による少年の非行防止活動の拡大を図ります。(大学生ボランティア40人委嘱、居場所づくり8回開催)</p> <p>2 青色回転灯犯罪抑止パトロール事業(緊急雇用創出事業) 94,859千円  【(13101) みんなで進める犯罪に強いまちづくりの推進】  (第9款 警察費 第2項 警察活動費 2 刑事警察費)  青色回転灯装着車両を使用したパトロール等を実施し、多発する侵入窃盗や乗り物盗、女性・子どもに対する声掛け事案や振り込め詐欺のほか、深夜時間帯に発生するコンビニ強盗等を抑止し、県民の安全・安心を図ります。(36人雇用)</p>	<p>少年課</p> <p>生活安全企画課</p>

政策名、施策名及び事業の内容	担当課
<p>(新) 3 三次元画像鑑定システム整備事業 5,182千円  【(13102) 犯罪の徹底検挙と抑止のための活動強化】  (第9款 警察費 第2項 警察活動費 2 刑事警察費)  犯罪の徹底検挙のため、三次元画像鑑定システムの整備を図り、科学捜査活動の高度化を進めます。</p>	科学捜査研究所
<p>4 特殊詐欺撲滅対策事業(緊急雇用創出事業) 5,993千円  【(13102) 犯罪の徹底検挙と抑止のための活動強化】  (第9款 警察費 第2項 警察活動費 2 刑事警察費)  振り込め詐欺を始めとした特殊詐欺に使用される携帯電話等の犯行ツールを使用不能にするなどし、これらの事案の撲滅を図ります。  (3人雇用)</p>	捜査第二課
<p>5 暴力団排除条例広報啓発事業 1,391千円  【(13103) 組織犯罪対策の推進】  (第9款 警察費 第2項 警察活動費 2 刑事警察費)  暴力団排除条例を活用した、社会全体での暴力団を排除する機運を高めるため、暴力団排除条例の積極的な広報啓発活動を推進します。</p>	組織犯罪対策課
<p>(新) 6 犯罪被害者等支援対策の充実事業【新しい豊かさ協創5】 1,432千円  【(13104) 犯罪被害者等支援対策の充実】  (第9款 警察費 第1項 警察管理費 2 警察本部費)  社会全体で犯罪被害者等を支える機運を醸成するため、学生等のボランティアと一体となった広報啓発活動等を通じて、県民の被害者支援活動への参加を促進します。「命の大切さを学ぶ教室」15回開催、広報啓発イベント1回開催</p>	広聴広報課
<p>7 警察官駐在所等整備事業 59,092千円  【(13105) 県民の安全を守る活動基盤の整備】  (第9款 警察費 第1項 警察管理費 4 警察施設費)  警察活動を支える基盤を強化するため、交番・駐在所の施設の整備・充実を図ります。(駐在所2か所建て替え)</p>	会計課
<p>&lt;施策名：(132) 交通安全のまちづくり&gt;</p>	
<p>1 交通安全県民力向上事業 18,750千円  【(13201) 交通安全意識と交通マナーの向上に向けた啓発・教育の推進】  (第9款 警察費 第2項 警察活動費 3 交通指導取締費)  「交通安全アドバイザー」による交通安全教育および広報啓発活動を推進し、交通事故抑止の原動力となる、交通安全に対する県民力を一層高めます。(交通安全アドバイザー6人を委託)</p>	交通企画課
<p>(新) 2 交通管制センターシステム更新整備事業 428,671千円  【(13202) 安全で快適な交通環境の整備】  (第9款 警察費 第2項 警察活動費 4 交通安全施設整備費)  交通流の効率的な管理とリアルタイムな交通情報を提供するため、老朽化した交通管制センターのシステムの更新整備を図ります。</p>	交通規制課

政策名、施策名及び事業の内容	担当課
<p>(新) 3 交通信号機震災対策事業 <span style="float: right;">189,096千円</span>  <b>【(13202) 安全で快適な交通環境の整備】</b>  (第9款 警察費 第2項 警察活動費 4交通安全施設整備費)  震災等の災害時における交通秩序を維持するため、交通安全施設の適正な更新や維持管理を行い、災害に強い交通安全施設の整備を図ります。  (交通信号機のLED化80か所等)</p>	交通規制課
<p>4 暮らしと環境を守る交通安全施設整備事業 <span style="float: right;">156,807千円</span>  <b>【(13202) 安全で快適な交通環境の整備】</b>  (9款 警察費 第2項 警察活動費 4交通安全施設整備費)  信号機の設置要望箇所のうち、交通事故が多発しているなど必要性、緊急性の高い交差点に信号機を整備し、安全・安心で円滑な交通環境を確保します。(信号機新設30基)</p>	交通規制課
<p>5 次世代支援のための安全な道路交通環境整備事業 <span style="float: right;">25,430千円</span>  <b>【(13202) 安全で快適な交通環境の整備】</b>  (9款 警察費 第2項 警察活動費 4交通安全施設整備費)  県内に所在する小・中学校を中心とした一定の範囲内の通学路において、横断歩道等の標識・標示を面的に整備し、安心して通学できる交通環境を確保します。</p>	交通規制課



# 大規模災害対策

～ 災害からの安全・安心の確保 ～

【警察本部】

平成24年度予算総額 8億6722万6千円

## 災害対応基盤の充実

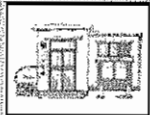
### 災害警備対策費(震災)

事業費 2301万5千円

災害警備活動を円滑に実施できるように、警察本部内の各種システムサーバーの免震化や交番・駐在所の資機材を整備する。

また、警察職員の居住環境の確保のため、警察職員住宅の耐震診断を実施する。

- 各種システムサーバー免震化
- 交番・駐在所の燃料携行缶、ポリタンク等
- 職員住宅耐震診断(10棟)



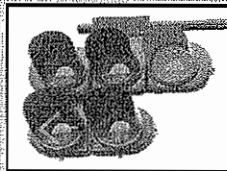
### 交通信号機震災対策事業

事業費 1億8909万6千円

人命救助や緊急輸送に必要な車両等の通行を確保するための交通安全施設の適正な更新や維持管理を行う。

また、災害の影響により、使用電力抑制が必要となるため、消費電力が少ないLED信号灯器への更新を図る。

- 信号灯器のLED化
- 信号制御機の更新
- 信号柱の更新



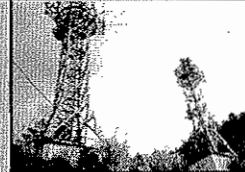
### ヘリコプターテレビシステム整備事業

事業費 2億2064万4千円

災害発生時において、被災状況の的確な把握、被災者の救助活動等を効果的に展開するため老朽化したヘリコプターテレビシステムの更新整備をする。

- 中継所3か所の更新整備(デジタル化)

平成22年度 機上設備「航空すずか」  
平成23年度 地上設備3か所(本部・県庁等)



### 交通管制センターシステム更新整備事業

事業費 4億2867万1千円

災害発生時における緊急輸送路を確保するため、交通情報板等の整備、信号機の系統化など交通管制機能の高度化を進める。

- 中央装置の更新(C/S化)
- 交通情報板の更新



## 災害警備活動

### 地域を支える警察活動強化事業

事業費 252万6千円

交番・駐在所に必要な装備、資機材を整備して、避難誘導や救助活動等、地域の防災拠点としての機能を強化する。

- 避難誘導用具(ハンドマイク・特殊作業帯)
- 照明確保(LEDライト・ポータブル電源)  
(県内50か所の交番・駐在所に整備)



### 災害警備対策費

事業費 327万4千円

基本的な災害警備対策を実施するために、災害警備出動用非常食や被災者救助用具を整備する。

- 災害警備出動用非常食の購入
- 被災者救助用のチェーンソー等の整備
- 衛星携帯電話の維持



# 交通管制センターシステム更新整備事業

総事業費428,671千円

資料9

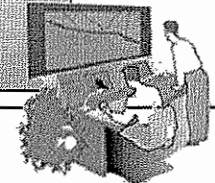
## ■ 交通管制センター等の現状 ■

### ◇ 中央装置の老朽・非標準

交通状況表示板の機能の限界(経年約30年)  
保守部品の確保が困難

### ◇ 伊勢志摩方面の管制エリア不足

鳥羽・志摩方面の情報収集不能  
平成25年の式年遷宮対策が急務



## 交通管制システム更新

### 交通の安全と円滑

I 情報収集・分析能力の向上(高スペックによる処理時間短縮)

交通の円滑化

騒音、排気ガスの減少

精度の高い制御

極め細かな情報提供

UTMSへの対応

交通渋滞の抑止、緩和

交通事故抑止

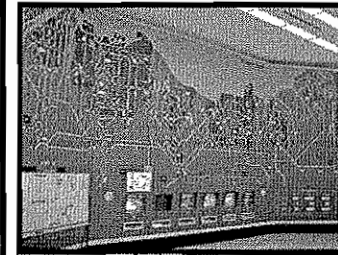
旅行時間の短縮

II システムのオープン(標準)化によるコスト削減

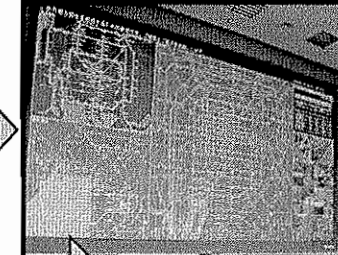
III サーバーの統合・小型化による省スペース、省電力化

### 中央装置及び交通状況表示板更新

現在の交通状況表示板  
(グラフィックパネル方式)



新交通状況表示板(イメージ)  
(マルチディスプレイ方式)

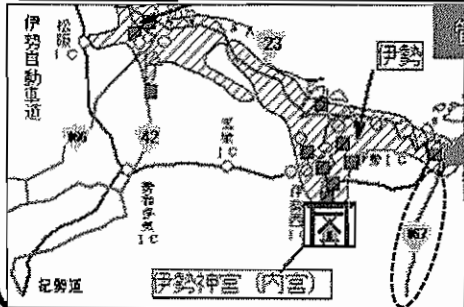


中央装置の更新



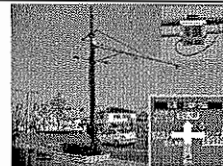
### 伊勢神宮式年遷宮対策

- 現況 ○ 伊勢神宮周辺を中心に恒常的に渋滞発生
- 平成25年の式年遷宮に向け増加予想



管制エリアの拡大

- 車両感知器の増設
- 交通情報板の増設



### 災害時の避難誘導

発災

迅速・正確な情報の収集

迅速な管理分析



・信号制御による交通誘導  
・交通情報板、ラジオ、カーナビ  
による情報提供、

人命救助

# 犯 罪 情 勢

## 1 刑法犯

	H22	H23	増減(率)	H23.4	H24.4	増減(率)
認知件数	23,425	22,215	-1,210(-5.2%)	6,273	6,585	312(5.0%)
検挙件数	6,480	7,191	771(11.0%)	1,883	1,486	-397(-21.1%)
検挙人員	3,320	3,066	-254(-7.7%)	890	940	50(5.6%)
検挙率	27.7%	32.4%	4.7P	30.0%	22.6%	-7.4P

- 平成24年4月末の認知件数は6,585件で、前年同期に比べ312件(5.0%)増加
- 検挙件数は1,486件で、前年同期に比べ397件(21.1%)減少
- 検挙率は22.6%で、前年同期に比べ7.4ポイント低下

## 2 凶悪犯

	H22	H23	増減(率)	H23.4	H24.4	増減(率)
認知件数	57	74	17(29.8%)	28	19	-9(-32.1%)
検挙件数	46	53	7(15.2%)	17	14	-3(-17.6%)
検挙人員	45	47	2(4.4%)	15	18	3(20.0%)
検挙率	80.7%	71.6%	-9.1P	60.7%	73.7%	13.0P

※ 凶悪犯：殺人・強盗・放火・強姦

- 平成24年4月末の認知件数は19件で、前年同期に比べ9件(32.1%)減少
- 検挙率は73.7%で、前年同期に比べ13.0ポイント上昇

## 3 振り込め詐欺

	H22	H23	増減(率)	H23.4	H24.4	増減(率)
認知件数	52	70	18(34.6%)	18	15	-3(-16.7%)
被害(万円)	約2,330	約7,780	+約5,450	約2,030	約8,990	+約6,960

※ 振り込め詐欺：オレオレ詐欺・架空請求詐欺・融資保証金詐欺・還付金詐欺

- 平成24年4月末の認知件数は15件で、前年同期に比べ3件(16.7%)減少し、被害額は約8,990万円で、約6,960万円(342.9%)増加

## 4 組織犯罪

### (1) 暴力団犯罪

	H22	H23	増減(率)	H23.4	H24.4	増減(率)
検挙人員	268	250	-18(-6.7%)	47	49	2(4.3%)
うち刑法犯	185	151	-34(-18.4%)	34	34	0
うち特別法犯	83	99	16(19.3%)	13	15	2(15.4%)

- 平成24年4月末の検挙人員は49人で、前年同期に比べ2人(4.3%)増加
- 検挙人員のうち、刑法犯が34人(69.4%)、特別法犯が15人(30.6%)

## (2) 薬物犯罪

	H22	H23	増減(率)	H23.4	H24.4	増減(率)
検挙人員	171	160	-11(-6.4%)	35	23	-12(-34.3%)
うち暴力団	84	60	-24(-28.6%)	14	12	-2(-14.3%)

- 平成24年4月末の薬物犯検挙人員は23人で、前年同期に比べ12人(34.3%)減少
- 検挙人員のうち、約半数(12人、52.2%)が暴力団構成員等

## 5 来日外国人犯罪

	H22	H23	増減(率)	H23.4	H24.4	増減(率)
検挙人員	157	163	6(3.8%)	47	39	-8(-17.0)
うち刑法犯	113	128	15(13.3%)	37	36	-1(-2.7%)
うち特別法犯	44	35	-9(-20.5%)	10	3	-7(-70.0%)

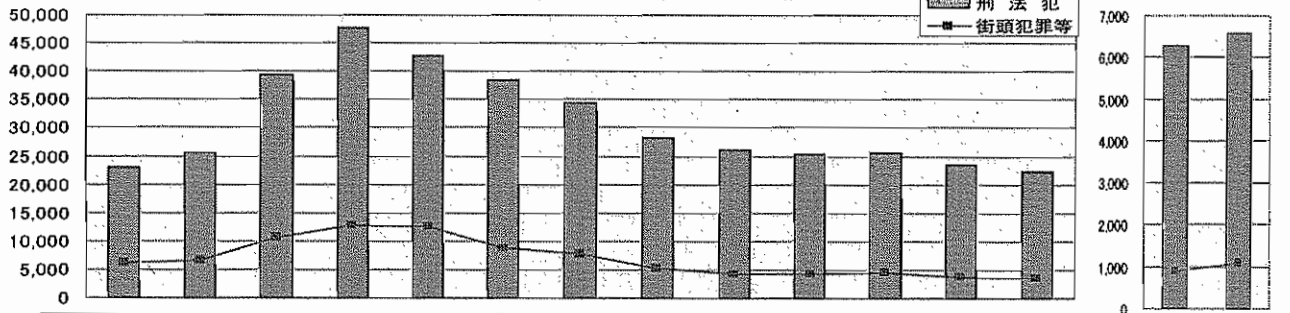
- 平成24年4月末の検挙人員は39人で、前年同期に比べ8人(17.0%)減少
- 検挙人員のうち、36人(92.3%)が刑法犯

## 街頭犯罪等及び振り込め詐欺抑止対策の推進状況

### 1 街頭犯罪等抑止対策

#### (1) 認知件数

刑法犯及び街頭犯罪等認知件数の推移



	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H23.4	H24.4
刑法犯	23,049	25,662	39,246	47,600	42,587	38,455	34,457	28,103	25,964	25,348	25,540	23,425	22,215	6,288	6,585
街頭犯罪等	6,172	6,651	10,623	12,760	12,583	8,768	7,745	5,301	4,171	4,178	4,620	3,824	3,641	889	1,103

街頭犯罪等(重点対象9類型)…空き巣、忍込み、自動車盗、ひったくり、車上ねらい、路上強盗、強制わいせつ、強姦、略取誘拐

- 平成23年中の刑法犯認知件数は22,215件（前年比-1,210件）、街頭犯罪等認知件数は3,641件（前年比-183件）
- 平成23年4月末現在の刑法犯認知件数は6,585件（前年同期比+312件）、街頭犯罪等認知件数は1,103件（前年同期比+214件）

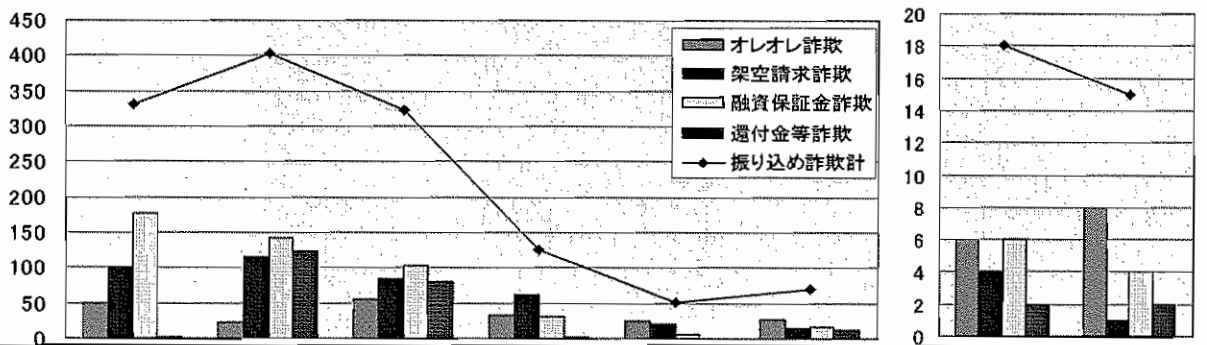
#### (2) 抑止対策

- 関係機関・自主防犯活動団体等への支援の推進
- 自転車盗など多発傾向にある犯罪の抑止対策の推進
- 子どもや女性を犯罪被害から守る対策の推進

### 2 振り込め詐欺抑止対策

#### (1) 認知件数

振り込め詐欺認知件数の推移



	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H23.4	H24.4
振り込め計	330	403	323	125	52	70	18	15
オレオレ	50	23	56	32	24	27	6	8
架空請求	101	115	85	61	21	14	4	1
融資保証	176	142	102	30	6	16	6	4
還付金等	3	123	80	2	1	13	2	2

- 平成23年中の振り込め詐欺の認知件数は70件（前年比+18件）
- 平成24年4月末現在の振り込め詐欺の認知件数は15件（前年同期比-3件）

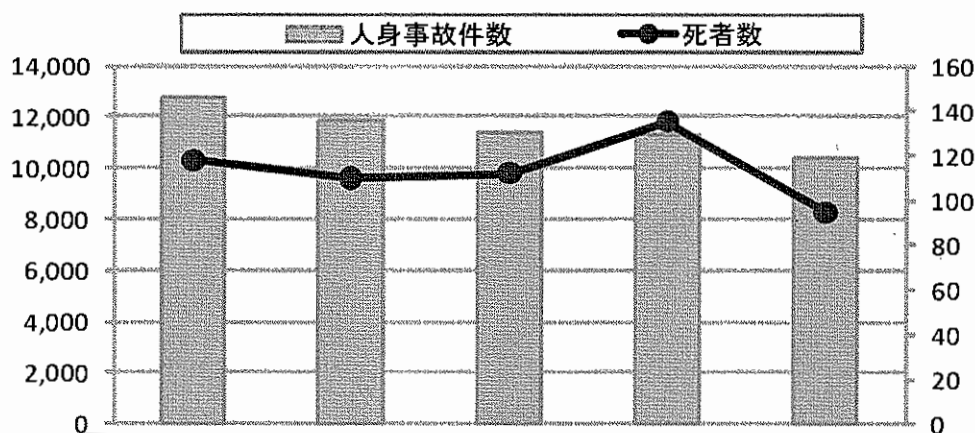
#### (2) 抑止対策

- 被害者層に応じた広報啓発活動の推進
- 関係事業所等との被害防止ネットワークの構築
  - ・ 振り込め詐欺金融機関即応ネットワークの運用
  - ・ タクシー事業所との振り込め詐欺防止ネットワークの運用

## 交通事故発生状況と交通事故抑止対策の推進

## 1 交通事故発生状況（平成23年中及び平成24年4月末概数）

平成23年中～死者数95人（前年比－40人）、人身事故件数10,420件（前年比－855件）  
 本年4月末～死者数30人（前年同期比－1人）、人身事故件数 3,239件（前年同期比－205件）



区 分	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年4月末
総事故件数	62,774	61,793	60,399	63,005	62,436	20,956
人身事故件数	12,790	11,886	11,372	11,275	10,420	3,239
死亡事故	117	109	109	125	89	30
死者数	118	110	112	135	95	30

## 2 交通死亡事故の特徴

## (1) 高齢死者が半数以上を占める

平成23年中～高齢死者53人 構成率55.8%（全国49.1%）

本年4月末～高齢死者15人 構成率50.0%（全国50.3%）

うち歩行者7人（夜間5人）、自転車利用者4人（夜間3人）

区 分	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年4月末
高齢死者数	55	56	65	71	53	15
構成率	46.6%	50.9%	58.0%	52.6%	55.8%	50.0%

## (2) シートベルト非着用死者の割合が高い

平成23年中～四輪乗車中死者36人中18人 非着率50.0%（全国46.5%）

本年4月末～四輪乗車中死者9人中4人 非着率44.4%（全国3月末45.5%）

区 分	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年4月末
四輪乗車中死者数	48	37	44	65	36	9
非着用者数	24	20	31	34	18	4
構成率	50.0%	54.1%	70.5%	52.3%	50.0%	44.4%

- (3) 飲酒運転の事故が依然として後を絶たない ※ 構成率は原付以上の第一当事者に占める割合  
 平成23年中～飲酒運転の死亡事故 6件 構成率7.6% (全国6.5%)  
 本年4月末～飲酒運転の死亡事故 1件 構成率3.7% (全国3月末6.7%)

区 分	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年4月末
飲酒死亡事故件数	8	10	7	6	6	1
構成率	7.8%	9.7%	6.9%	5.0%	7.6%	3.7%

### 3 交通事故抑止対策の推進

#### (1) 効果的な交通指導取締り

- 事故発生現場及びその周辺を中心とした交通指導取締り
- 死亡事故の特徴を踏まえ、最重点罪種に指定した「飲酒運転」、「最高速度違反」、「シートベルト非着用」の交通指導取締り
- 主要幹線道路(国道23号等)における顕示効果の高い交通指導取締り

#### (2) 交通死亡事故の特徴を踏まえた「重点4S対策」

##### ア 高齢者の交通事故防止対策 (Silver:シルバー対策)

- 交通安全アドバイザーによる参加・体験・実践型の教育・啓発活動を実施
- 「交通安全“見える・見せる”キャンペーン」を活用し、反射材の着用を促進
- 高齢者交通安全教育ステップアップ事業による地域の実態に応じた交通安全教育を推進

##### イ シートベルト着用促進対策 (Seatbelt:シートベルト対策)

- 幹線道路を重点としたシートベルト取締りの強化
- チャイルドシート着用モデル幼稚園等の指定
- シートベルトコンビンサー等を活用した参加・体験型による指導教育の推進

##### ウ 飲酒運転根絶対策 (Sake:サケ対策)

- 飲酒運転取締りの強化
- 飲酒運転を根絶するための社会環境づくり  
「ハンドルキーパー運動」の普及啓発と自動車運転代行業の利用促進

##### エ 速度抑制対策 (Speed:スピード対策)

- 実勢速度の高い路線における速度違反取締りの強化
- 道路管理者と連携した道路交通環境の整備
- 高速道路等において関係機関・団体と連携したペースメーカー車運動の展開

#### (3) 「交通安全“見える・見せる”キャンペーン」～夜間の交通事故防止

- 運転者対策  
「上向きライトでの走行とこまめな切り替え」、「夕暮れ時の早めのライト点灯」
- 歩行者・自転車利用者対策  
「明るい服装と反射材の着用」



# 交通安全「見える・見せる」キャンペーン

## ドライバーはこまめなライトの切り替えで事故防止!!

夜間走行時のライトは上向きが基本です。ライトを上向きにすることによって、下向きでは見えない危険を早期に発見することができます。夜間の歩行者や自転車を早期に発見し、交通事故を未然に防ぎましょう。

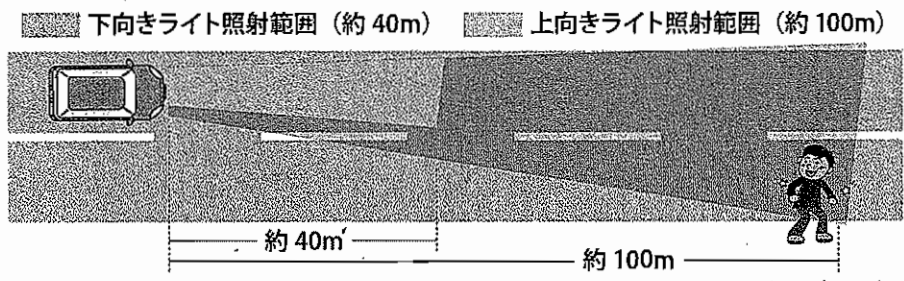
### 上向きライトで事故防止!!

夕暮れ時から夜間の走行は視界が悪くなり、危険度も増します。「上向きライト」と「早めの点灯」で、自分の車の存在を知らせるとともに危険を早期に発見して、事故を未然に防ぎ、安全運転に心がけましょう。

ただし、前の車や対向車、歩行者、自転車を発見したときにはライトを下向きにしましょう。

### 早めのライト点灯で安全運転!

まだ大丈夫と想着っても、日没前後は意外に見えにくくなります。早めにライトを点灯して、周囲に自分の車の存在を知らせましょう。



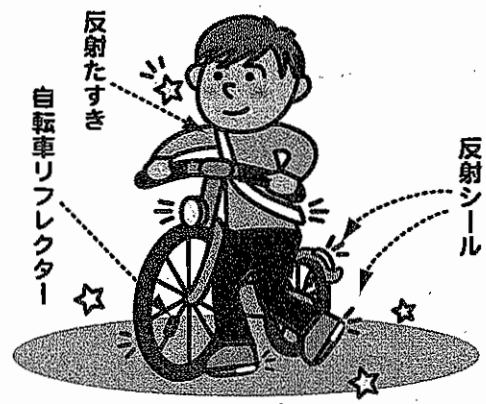
## 歩行者は反射材を着用して身を守りましょう。

夜行反射材を身に付けて、自分の存在を早く車に知らせましょう。

反射材は左右からも見えるように着用しましょう。

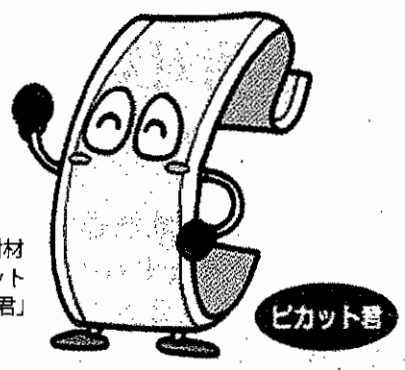
たすき以外にも手首に着用するリストバンドや反射材付きの靴なども効果的です。

明るい服（白や黄色など）を着るようにしましょう。



反射材で、ピカッと安心!

三重県警察反射材着用推進マスコット「ピカッと君」



# Silver

【シルバー】

## 高齢者の交通事故防止対策

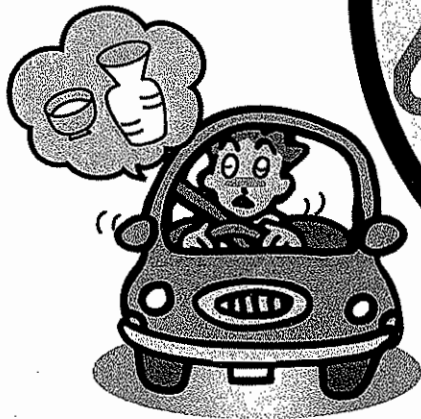
平成23年中の交通事故死者95人中、高齢者の交通死者が半数(53人、約56%)を占めています。

特に、夜間の歩行者・自転車利用者の交通事故が多発していますので、車のライトは上向きを基本とし、こまめな切り替えと歩行者・自転車利用者の反射材等の着用を推進しましょう。



みんなで進める  
交通事故抑止のための重点

# 4S対策



# Sake

【酒】

## 飲酒運転根絶対策

平成23年中も飲酒運転による交通事故が発生しています。

飲酒運転は犯罪です。飲酒運転はしない、させない。そして車を運転する人にお酒を勧めない、飲酒した人に車を貸さないことを地域、職場ぐるみで徹底させましょう。

# Seatbelt

【シートベルト】

## シートベルト着用促進対策

平成23年中の四輪乗用中の死者36人中、シートベルト非着用の死者が半数(18人)となっています。その中でも約半数がシートベルトを着用していれば助かったと思われる交通事故でした。

車に乗ったら全席の人がシートベルトを着用し、幼児(6歳未満)を乗車させたときはチャイルドシートを正しく使用しましょう。



# Speed

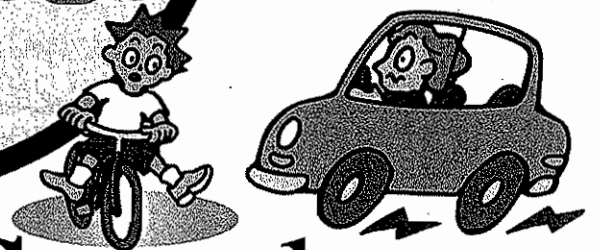
【スピード】

## 速度抑制対策

車の速度が速いほど

- 停止距離が長く
- 衝突時の衝撃が大きく
- カーブでの遠心力が大きくなります。

衝突時の衝撃は速度の2乗で、車が60Km/hでコンクリートの壁に衝突した場合、ビルの5階から落ちたのと同じ衝撃力を受けます。



## 災害に係る危機管理体制の再構築に向けた取組について

### (大規模災害への対応状況)

#### ○ 東日本大震災に伴う派遣状況

岩手・宮城・福島の各県に派遣し、救出救助、行方不明者の捜索、検視、交通規制、検問、パトロール等の活動に従事

※ 派遣回数・人員 … 71回・延べ1,400人

#### ○ 紀伊半島大水害における活動状況

豪雨災害において、消防等関係機関と連携した活動により、多数の被災者を救助するなど、被害の拡大を防止



紀伊半島大水害での活動

### 1 取組方針

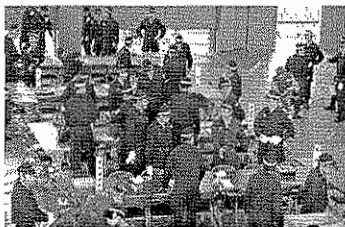
東日本大震災における警察活動の検証を踏まえ、巨大地震をめぐる新たな想定にも対応するため、災害に係る危機管理体制の再構築に向けた取組を推進

### 2 主要な取組

#### (1) 対処能力の向上

ア 発災直後からの活動の手順を取りまとめた「三重県警察大震災活動要領」を策定

イ 庁舎の被災等を想定した図上演習、他県警察や自治体等関係機関と連携した訓練を実施



代替施設(警察学校)での図上演習



3県警察(愛知・岐阜・三重)合同図上演習



他県警察との合同訓練(広域緊急援助隊)

#### (2) 関係機関等との連携強化

ア 民間事業者、関連団体との協定締結

※ 事業者… 装備・プレハブ等

関連団体… 信号機復旧

イ 警察署と市町とが情報の提供、検視・

遺体安置所の確保等に関する協力確認



事業者との協定締結



市町との協力確認(松阪)

#### (3) 活動基盤の整備

ア 平成23年度

活動拠点用発電機、信号機用発電機 等

イ 平成24年度

避難誘導用具等装備資機材、信号機制御機(停電対策) 等

東海地震、東南海・南海地震等の大規模災害に備え、災害対応力を一層強化